



■ 優秀賞

北海道旅館ホテル生活衛生同業組合青年部 宗谷支部

タイトル 日本最北の観光ブランド創出に向けて

新たな観光素材を掘り起こすべく、利尻島での史跡や自然の視察、宗谷岬でスノーシューやスノーモービルの体験をはじめ座学などを実施し、厳しい冬でも大自然の中で楽しめる観光資源を検証、模索。稚内・宗谷地域が一丸となり、今後目指すべき地域ブランドの創出、その方向性を認識しました。

山形県旅館生活衛生同業組合青年部

タイトル 山形県青年部の平成17・18年度の活動

組織の強化や財務体質の強化に向けた様々な改革を実施。会議やセミナーの案内、各支部や部員からの意見の集約などを行うメールリストを作成した部員の「情報の共有化」や年会費の値上げや公的組織からの補助金を活用した「財務体質の改善」などを行いました。活動の場を整え、皆が参加できる環境の基礎はできたのではないかと考えています。

福島県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部 磐梯熱海支部

タイトル 世界初、循環方式採用!!「出前足湯」

磐梯熱海温泉を広く認識してもらうために、青年部の手づくりの浴槽に温泉を入れ、近隣のイベントやお祭りの会場で来場者に足湯を楽しんでもらうことを企画、実践しました。行政の協力も仰ぎ、循環方式を実現。温泉の温度管理が容易になり、遠距離や冬期の実現が可能になりました。今やイベントへの参加要請もいただくようになってきています。

栃木県旅館生活衛生同業組合青年部 塩原・那須支部

タイトル 那須塩原板室温泉ホッピング 湯めぐりチケット

塩原、那須、板室各温泉地区共同の湯めぐり企画。「じゃらん」とも連携し宿泊客に無料の湯めぐり券を贈呈、地区を越えての湯めぐりということで「温泉ホッピング」という新語を作りました。北那須3地区の情報交換、宣伝協力、後継者の育成を目的に「那須塩原板室合同青年部」を結成し、スケールメリットを創出して北栃木を盛り上げていきます。

群馬県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部 四万温泉支部

タイトル 地産地消の推進による新たな発見

農家と連携しオリジナルブランド「湯けむり米」を確立、お客様に提供するなど地産地消として地産地消を推進しています。地元JAと定期的に会合を開き、旬な情報や流通形態を確保できました。地産地消委員会を設立し、毎月旬な作物を宿泊客に提供するなど顧客満足度の向上も図っています。